BASIC
Confertas Office

身を守るには
知ることから！

社内回覧用

情報セキュリティ被害の最新事例
2023年6月版

【大切なお願い】
会社を守るため、社長様、幹部様、従業員様、
パソコンやスマホを利用する**皆さまに回覧ください。**
自分事で実態を知ることが対策の第一歩です。

【この冊子の活用の仕方】
この冊子では、セキュリティの最新情報を月刊で
お伝えしています。被害事例を**自社に置き換えて、**
対策と意識向上にお役立てください。

BASIC
Confertas Office

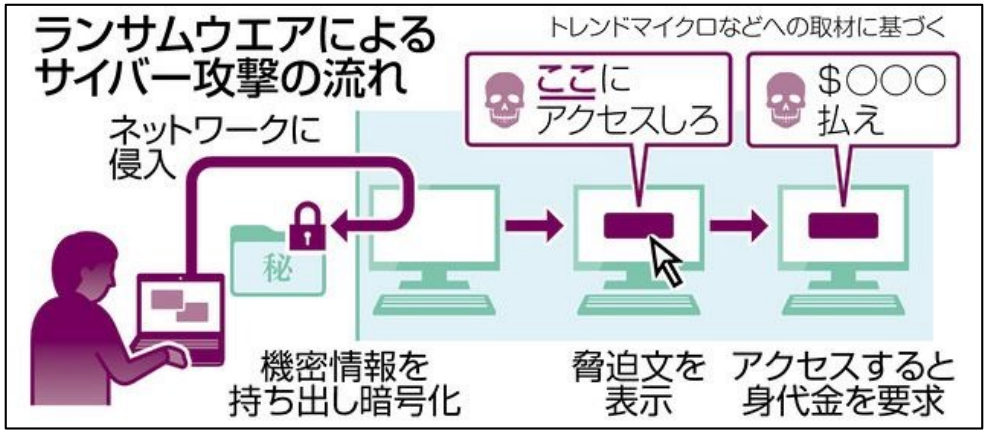
■マイナンバー800万人分を扱う社労士支援システムにサイバー攻撃

2023年6月15日

・国内の社会保険労務士の多くが利用している業務支援システム「社労夢（シャローム）」に対し、ランサムウエア（身代金要求型ウイルス）攻撃があった。なにより気になるのは、このシステムが800万人超分のマイナンバーを含む個人情報を扱っていたこと。もし外部に流出していれば、影響は計り知れない。

・エイケイシステムの発表文によると、6月5日早朝にデータセンターのサーバーがダウンし、調査したところ、サイバー攻撃を受けたことが分かった。

・発生から約10日たった現在もシステムは復旧しておらず、主力の社労夢をはじめ、関連する複数のサービスがほとんど使えない状況が続いている。



不正アクセスを受けてランサムウェア被害に遭うという事例が近年、増加しています。このような被害に遭わないよう、セキュリティ対策や従業員教育を徹底しましょう。

■画像：ランサムウェアによるサイバー攻撃の流れ

■出典：https://www.tokyo-np.co.jp/article/256708

■利用者が多いメガバンクを騙るフィッシング詐欺は要注意
三菱UFJ銀行の偽物から口座凍結メールが！

2023年6月27日

・今回発表されたものは、“口座を一時利用停止したので、再開したければ本人確認の手続きをせよ”という内容のメールを送り付けて偽Webサイトに誘導し、口座情報を入力させて盗み取る手口です。

・利用者が多いメガバンクであり、「【重要】三菱UFJ銀行入金制限のお知らせ」「【緊急】三菱UFJ銀行が不正利用を検知」といった件名で送り付けられるため、驚いて文中リンクをタップしてしまう人も少なくないと思われますので、注意が必要です。

・なお、すでに三菱UFJ銀行からも注意喚起が発表されています。「当行からメール・SMSでインターネットバンキングのログイン画面へ直接誘導し、パスワード・暗証番号等の入力を求めることは一切ありません」とのことですので、今後似た内容のメールがあなたのもとに届いたら、決してリンクなどをタップせず、削除しましょう。

パスワードや暗証番号の入力を求めるようなメールはフィッシング詐欺の可能性が高いです。少しでも怪しいと感じたらクリックせず、慎重に対処しましょう。

■画像：三菱UFJ銀行を騙る偽のWebサイト

■出典：https://ascii.jp/elem/000/004/142/4142455/

■コクヨにランサムウェア攻撃　バックアップシステムで業務に支障なし 個人情報流出は現時点で確認されず

2023年6月8日

・大阪に本社がある大手文房具メーカーの「コクヨ」は８日、サイバー攻撃を受けて身代金要求型のコンピューターウイルス「ランサムウェア」に感染したと発表しました。

・コクヨによりますと、６月５日から６日にかけて「ランサムウェア」という身代金要求型のコンピューターウイルスによるサイバー攻撃を、会計システムなど複数のシステムで受けたということです。

・コクヨは対策本部を設けてシステムの復旧を進めていて、バックアップのシステムで作業するなど業務に支障は出ていないということです。

・今後、個人情報の流出があったかどうか調べるとしていますが、現時点で流出は確認されていないということです。

これは事前のセキュリティ対策やバックアップによって、サイバー攻撃を受けても、システムの復旧がスムーズに行われた事例です。このことから、セキュリティ対策の重要性が分かります。

■画像：KOKUYO（ABCテレビ）

■出典：
https://news.yahoo.co.jp/articles/3aa6f68ff98f6854e258a13b1988b774f95de23c

BASIC Confertas Office

■スーパーマリオのインストーラにマルウェア、ゲーマーが標的に

2023年6月27日

・Cybleはこのほど、悪意のあるスーパーマリオゲームが配信されているとして、注意を呼び掛けた。トロイの木馬化されたスーパーマリオゲームのインストーラが特定され、「super-mario-forever-v702e」というインストーラファイルに複数のマルウェアがバンドルされており、悪意のあるプログラムを含まれていることがわかった。

・このプログラムは感染すると、ユーザーの同意や認識なしにバックグラウンドで動作し、リソースを無許可で使用して暗号資産であるMoneroをマイニングする。また、システムからさまざまな種類のデータを素早く収集し、Discordを悪用して攻撃者に送信するように設計されている。

・悪用されたのは公式のマリオゲームではないが、世界中に多くのファンがいるとされるマリオがサイバー犯罪に利用されたことになる。このような攻撃の被害者とならないよう注意することが望まれている。

このような悪質なプログラムは身近なところに潜んでいます。なにか不安なことがあれば、すぐに周りの人に相談してみましょう。

■画像：マルウェア化し問題となった実際のゲーム

■出典：
https://news.mynavi.jp/techplus/article/20230627-2713884/

■ベトナム人のChatGPTアカウント、5000件がハッキング被害

2023年6月26日

・シンガポール系サイバーセキュリティ企業「グループIB(Group-IB)」によると、対話型人工知能(AI)チャットボット「ChatGPT」のアカウント約10万件がダークウェブ上で販売されており、このうちベトナムのカウントは4711件だった。

・ChatGPTは現在、仕事やビジネス、市場分析から個人的な用途に至るまで、あらゆる活動において仮想アシスタントとして多くのユーザーに使用されている。

・ユーザーとChatGPTのチャット内容からは、ユーザー本人の仕事や興味のある物事、個人的な問題など、様々な重要な情報を読み取ることができる。ハッキングにより、これらの情報が漏えいした場合、個人や企業、従業員などが詐欺や攻撃の標的となることが懸念される。

アカウントが悪用されないようにパスワードを単純なものにしないことや2段階認証を設定することが有効な対策になります。

■画像：ChatGPT

■出典：https://www.viet-jo.com/news/social/230623173305.html

■防衛省、サイバー課を来月新設

2023年6月26日

・防衛省は、安全保障関連３文書に基づきサイバー分野で自衛隊の体制を大幅に強化するため、７月１日付で整備計画局に「サイバー整備課」を新設する組織再編の方針を固めた。サイバー攻撃への対処を担う参事官ポストも大臣官房に新設し、防衛装備庁には装備品納入業者らのサイバー対策を所管する「装備保全管理課」を置く。関係者が２６日、明らかにした。

・昨年末策定の３文書では、サイバー分野を防衛の新領域として重視。防衛省・自衛隊の対応力を強化し、２０２７年度をめどに関連業務に従事する要員を計２万人に増強すると明記した。このうち約４千人で自衛隊の専門部隊を構成する計画だ。

近年、サイバー分野の対策の重要性が増しています。対策が必要と感じる場合は、セキュリティの専門家へ相談してみましょう。

■画像：防衛省

■出典：https://jp.reuters.com/article/idJP2023062601001564

情報セキュリティ対策は、実績豊富で信頼できる企業をお選びください。

最近は、ランサムウェアや情報漏えいなど、経営に関わるサイバー攻撃の被害も増加し、ひとつの社会問題となっています。私たちは、「サイバー攻撃の脅威からお客様を守りたい」そして、「今後もお客様と一緒に永く成長していきたい」と強く思っています。

情報セキュリティは、社内ネットワークに関わる重要な部分であり、信頼できる会社と付き合うことが大切です。私たちは、お客様に正確な情報と知識、安心の技術サポートを提供できる体制を整えていますので、ぜひご安心ください。